



うさぎだより

中野区議会議員 無所属

佐藤ひろこ

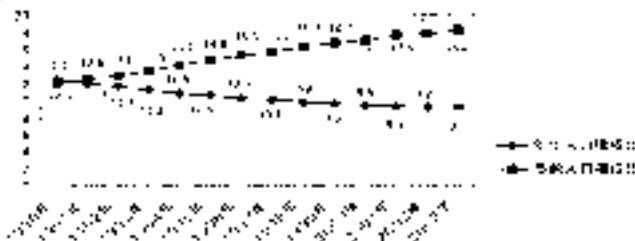
[事務所] 〒164-0001 中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野4-8-1 市民自治控室 TEL.3228-8874

http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail : usagidayori@hotmail.com

編集:住民自治をすすめる会 発行:市民自治



年々反比例 中野区の年少人口・高齢者人口比率

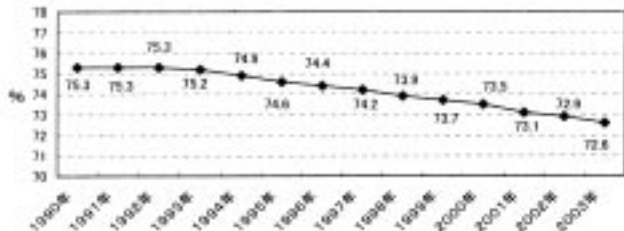


年々低下 合計特殊出生率

	1998	1999	2000	2001
全国	1.38	1.34	1.36	1.33
東京都	1.06	1.04	1.07	1.00
中野区	0.82	0.79	0.77	0.77

年々減少 中野区の生産年齢人口比率

(15才～65才の人口に占める割合)



少子高齢化の衝撃

持続可能な区政への転換を

政権を変えたいという人々の、期待が膨らんだ総選挙でした。明日の子ども達につながる地域社会をつくっていくために、これからが本番です。

経済成長だけを追い求めてきた私たちは、気がつけば地球環境の破壊につきすんでいます。次の世代に安心して暮らせる環境と社会を残していくためには私たちの世代だけで資源を使いつくしていいわけがありません。少子高齢化の波が全国的に、そして、中野区にも押し寄せています。少ない人口の子ども達世代が、たくさんの高齢者世代を支えなければならぬ時は、目前です。次の時代に持続可能な社会を作っていく、今が正念場です。

中野区でも少子高齢化が急速にすすんでいる。生産年齢人口比率は10年前から年々減少。合計特殊出生率も年々低下し、全国平均をはるかに下回る0.7%。年少人口の構成比率は年々低下し今年1月で9.2%。高齢者人口の構成比率は年々上昇し続け、ほぼ倍の18.2%。人口減の世代が、私たち団塊の世代を含む人口増の高齢者世代を支えなければならぬ時代があと10年後以降には確実にやってくる。

佐藤 次世代が少ない人口でも少ない税金でも支えられ区政に変えていくことがこ

支援費制度について意見交換会

パート2

12月13日(土)

AM 10:00 ~ 12:00

スマイルなかの3階会議室

(中野駅北口5分)

れから超高齢社会に突入する私たちも安心して暮らせることになるのだと思う。税金を使い尽くし、次の世代の税金まで食べてしまつやり方で、維持してきた今までの区政運営のあり方を見直すことが、子ども達の世代に対する私たちの責務だ。区長は、持続可能な地域社会をめざすための区政の転換について、どのように考えているのか。

区長 区民の意思、自己統治にもとづいて運営されるのが持続可能な区政運営である。財政的な持続可能性も必要。環境面での持続可能性と、ある程度の経済的な安定・繁栄も必要と考える。区民相互の支えあいによって高齢者や障害者が安心して生活できる地域社会をつくる。

佐藤ひろこの 議会質問

縦割り行政の撤廃を

佐藤 区は来年度、現場を知る職員に権限を移譲し、縦割りを廃した組織のフラット化を検討しているそうだが、区民にとってのメリットは。区長 区民が一番近い現場での判断ができ、意思決定過程が短くなる。

組織を5つの領域に再編予定。課長や係長などをなくすフラット化を検討。

「NPOとの協働」の 指針を

佐藤 NPOの知恵と力を地域に生かすために、支援基金の創設や公共施設の空きスペースの活用を。

区長室長 指針については、区民と意見交換し今年度中に具体的な支援の内容を定める。活動の場を検討する。

港区の子育て広場、あい・ぽーと、開所式に服部区議達と参加。廃園になった幼稚園を活用し子育て支援事業を日本子どもNPOセンターが受託。



えっ、保健福祉センター がまた変わる?!

佐藤 来年度、南部保健福祉センターをなくし、鷺宮を子育て中心の保健所に変え、4ヶ所ある保健福祉センターを減らすことを検討しているそうだが、どう変えようとしているのか。保健福祉部長 保健福祉の効果的な連携をするため、組織改正に取り組んでいる。区民の期待に答えられる組織にする。

満足できる 支援費制度に

佐藤 サービス事業者情報が満足できるように提供されて

いない、しおりやホームページの充実を。保健福祉部長 都のHPに詳しく載っている。

佐藤 区の福祉オンブズマンで民間事業者への苦情をなぜ扱わないのか。どんな方法でいつまでにつくるのか。

保健福祉部長 区は民間サービスの苦情に関する第三者機関は事業者自ら設けることが基本と考える。来年度から事業者連絡協議会が苦情処理機関を設け、社会福祉協議会が事務局となる方向で検討中。

佐藤 全身性障がい者のヘルパー不足が深刻。NPOとの協働でヘルパー養成を早急に。保健福祉部長 検討する。

(一月末中野区でNPOにより実施される予定)

DVのない中野に

佐藤 DV被害者対応のためのしおりを作成し関係機関に配布を。DVが犯罪であるとの広報の強化。相談窓口の紹介を区のしおり、ホームページで。地域センター部長 適切な情報提供に務める。

佐藤 DV防止法の見直しに向けて、身近に起きる女性への暴力を考える会では、医療機関へのアンケート調査から見えた課題について、医療費を

払えない場合の助成等要望した。区が都に出した要望は。地域センター部長 暴力の概念を精神的な暴力にも拡大し、保護命令の対象を子ども等にも拡大すること等要望。

ストーカー被害者の 住民票の閲覧制限を

佐藤 中野区では昨年、ストーカー等の被害者に対する住民基本台帳事務取扱基準を定めている。基準を条例に。区民部長 条例を検討する。

公的書類からの 不要な性別欄の削除を

佐藤 心と体の性が食い違うことに苦しむ性同一性障害は世界保健機関も認める医療疾患。7月、性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律が成立。人権への配慮が

求められた。不要な性別欄の削除や印鑑条例の改正を。区民部長 性別記載削除のための印鑑登録の条例改正を早く提案したい。(衆議院選挙から投票整理券の性別記載欄は削除された。4月までに他の書類についても見直す)

「性同一性障害を抱える人々が普通に暮らせる社会環境の整備を求める意見書」
公明党区議と協力して文案作成。全会一致で可決!

これからの図書館は

佐藤 教育委員会は、図書館業務の一部委託を来年度から実施し、人件費を削減し図書購入費などに活用していくと提案しているが、21世紀の図書館の考え方をきちんと出すべき。図書館運営協議会を提案。チエックを行なう住民参加の



「全国シェルターシンポジウム2003」の「医療機関との連携」のパネラーとして参加

機関として機能させるべき。NPOも図書館運営の担い手として視野に。
教育委員会事務局次長 図書

館運営協議会など区民の意見をいただきながら検討する。図書館を委託する対象はNPOも視野に入れて考える。

持続可能な中野駅周辺まちづくりを

佐藤 清掃工場建設計画が中止になり、警察大学校等跡地利

用計画を見直すことになった。防災公園、緑のオープンスペースの確保を目標とすべき。負の遺産とならないまちづくりを。まちづくり調整部長 良好な都市景観の形成、安全、いこいのための公園等、オープンスペースの確保について配慮する。まちづくりが東京の再生に貢献でき、持続的発展が可能となるようにすすめる。

佐藤 サンプラザの土地を区

が取得した場合、区民にどういったメリットとデメリットがあるのか。財政負担を持ち越さない手法をしっかりと確認すべき。

区長 中野駅前のサンプラザの土地は重要な意味を持つ。区の意思をきちんと働かせることが可能な形で活用していくことが、これからの区にとって重要。財政負担や運営の失敗が区民の負の遺産とならないように徹底した留意をする。

動き出す警察大学校等跡地計画

調査検討のために、区民代表・公募区民・専門家・区・都・国の関係者で構成される、「中野駅周辺まちづくり調査検討委員会」が発足。今年度末に、中野駅周辺まちづくり計画の素案を策定する。そして、来年度まちづくり計画を策定し、都市計画の手続きに入る予定。

11月17日意見交換会を市民自治で企画。参加者から「公園を」との意見が多かった。「公園を作り維持するための財源を」との意見も出され、夢と現実をどうかみ合わせ、区民の合意をつくっていくのか、区民の議論と知恵が必要だと思った。区は区報で意見を募集中。

区ホームページのさらなる充実を

佐藤 例えば世田谷区では民間の保育園やNPOの介護サービスの情報も充実している。区民が選べる情報が総合的に提供されなければならない。総務部長 来年度HPのリニューアルに取り組んでいく。

中野区非常勤職員 賃金差別裁判 和解

佐藤 区非常勤職員が職の廃止による退職後、賃金の均等待遇と間接差別の是正を求めて、中野区を提訴していた。三年にわたる裁判が和解。和解内容は、女性が9割の公務パートの間接差別性に言及されず残念。しかし、初めて「均等待遇」に言及した点で評価できる。区はどのように考えているのか。総務部長 今後とも均等処遇につとめたい。

区政を変える 昨年度決算に賛成

昨年6月田中区长に変わってから10ヶ月間の、区民と作った公約の実行を評価。例えば区長給与の削減、毎月2回の区民と対話集会、区長交

際費・庁議の概要をホームページで初公開、区民・職員の幅広い参加による新たな基本構想策定に着手、上野原スポーツ学習施設計画など財政見通しの立たない施設建設計画の中止等。そして、住基ネットの切斷。

住基ネット再接続、住基カードは問題あり

区民意見はおよそ200通ほど寄せられた。ほとんどが再接続反対もしくは慎重な対応を求めるもの。総務省に中野区が質問していた全国の自治体のセキュリティ対策について、重点項目は適切に運用されていると確認できたと回答がきた。しかし、住基ネットとインターネットが完全に分離できていない自治体の問題など、個人情報保護にはまだまだ問題がある。住基カードの手数料を決める条例には反対した。

住基ネット市区町村長の調査権の法制化実現

中野区が総務省に働きかけていた法制化が9月に実現。これで、国の機関等に調査権を行使できる。しかし、国が第二次稼働までに整備すると言っていたアクセスログの開示はまだ。

佐藤ひろこの収支報告

2003年7~10月

	7月	8月	9月	10月
収入				
報酬	¥593,700	¥593,700	¥593,700	¥593,700
費用弁償	¥6,000	¥21,000	¥3,000	¥24,000
支出				
税金	¥77,450	¥77,450	¥77,450	¥77,450
年金・保険	¥140,400	¥140,400	¥140,400	¥140,400
活動費	¥90,974	¥92,994	¥75,316	¥68,180
積み立て	¥6,000	¥21,000	¥3,000	¥24,000
残	¥284,876	¥282,856	¥300,534	¥307,670

D V 相談窓口

中野区生活援護課婦人相談 3228-8927
8:30~17:15 土・日休み
女性会館女性の生き方相談 3380-6945
9:00~17:00 日・月休み
NPO法人「女性のスペース結」 3229-2619
月曜18:30~21:00水曜13:00~17:00
東京都女性相談センター 5261-3911
24時間 夜間・緊急

佐藤ひろこの活動日誌から

- 8月19 女性会館情報図書室を発展させる会
- 20 支援費制度講演会 厚生労働省課長
- 22 区民委員会
- 24 女性のスペース結
- 25 「NPOで図書館運営を考える」講演会
- 26 札幌市議と住基ネットについて調査
- 29 中野区非常勤職員賃金差別裁判和解
- 9月1 義母葬儀
- 4 区民委員会
- 6.7 日常生活支援ヘルパー養成講座受講
- 8 補正予算内示
- 9 中野の福祉を考える当事者の集い
- 11 世田谷区NPO施策など視察
記録映画「チョムスキー」
- 12 中野駅周辺警察大学校等跡地整備特別委員会
- 13 身近に起きる女性への暴力を考える会
NPO法人「女性のスペース結」発足学習会
- 14 港区子育てひろば「あいぼーと」など見学
- 15 「これからの図書館を考える」懇談会
- 17 板橋区NPO施策調査
- 19 本会議
- 20 支援費制度意見交換会
- 22 本会議 佐藤ひろこ質問
- 24 本会議
- 25 決算特別委員会
- 26 障害者地域自立生活支援セミナー
「若宮クラブ」見学
- 27 NPOフォーラム
- 29 警察大学等跡地に夢を描く連絡会
- 30 住民自治をすすめる会
- 29～10/2 決算特別委員会
- 10月3 決算区民分科会
記録映画「しがらきから吹いてくる風」
- 4・5 中野まつり・ティーチイン
- 6・7 決算区民分科会
- 9 決算特別委員会 決算採決
- 10 本会議 決算採決
- 14 虹と緑政策研究会「公務員制度改革」
- 15・16 区民委員会
- 20 中野駅周辺警察大学校等跡地整備特別委員会
- 22 本会議 議案等採決
- 23 老人クラブ連合会と懇談会
- 24 一人芝居「地面の底がぬけたんです」
- 25 コンピューター問題交流集会
- 26 ベビーサロン中野運動会・東部地域運動会
- 28 「地面の底が抜けたんです」実行委員会
- 27 基本構想区民ワークショップ傍聴
- 29 基本構想区民ワークショップ全体会傍聴
- 30 ヘルパー実習・基本構想審議会傍聴
- 11月1・2 全国シェルターシンポジウム石川県にて
- 5 協働のための人財育成講座
- 6 中野駅周辺まちづくり調査検討委員会傍聴
江古田の森について区民の方と懇談
- 7 来年度予算について区民と区長の対話集会
- 9 中野ハンディキャップの会交流会
- 10 区民委員会・中野駅周辺警大跡地特別委員会
- 14 協働のための人財育成講座
- 15 女性会館まつり

補正予算に賛成

障がいのある中・高生の居場所へ初めての支援

サンプル取得へ向けての調査費や障がいをもつ子どもたちのための学童クラブ、若宮クラブへの運営費補助などを盛り込んだ補正予算に賛成。サンプルが区民にとって負の遺産にならないよう、取得の方法をしっかりと見極める調査と検討は必要。その結果の公表と

傍聴してね！

次の議会は

11月26日(水)～12月9日(火)
陳情/切は11月25日(火)
佐藤ひろこの質問日は区議会事務局に問い合わせ下さい

説明を。障がいをもつ中高生の放課後の居場所をと、親たちが作るつとした学童クラブ。区は廃園後の保育園を場所として提供し、やっと補助金をつけたい。この芽を大事にふくらませ



若宮クラブで

えっ！保育園が急に民間委託

11月10日の区民委員会でも、来年度から宮園保育園と宮の台保育園を民間委託すると発表された。宮園保育園はうちの娘が0歳の時に通った保育園。六ヶ月からの保育で、産休明けはなかった。民間に運営を委託して、産休明けと延長保育を来年度から実施する。

9月に地方自治法が改正され、公共施設の運営に株式会社委託も可能になる指定管理者制度が導入された。保育サービス拡充を早急にめざすために、この制度を使って保育園を民間委託する。しかし、あまりにも急。なぜ公務員でできないのか。いていねいな説明と議論を。

イラクへの自衛隊派遣に反対です！

政府へ自衛隊派遣反対の意見書の提出を求める陳情に私は賛成。しかし本会議で否決。

公務員の給与二年連続引き下げ

特別区人事委員会勧告により平均年間給与で約17万円、2.3%減額。しかし、もつと下げるべきという区民の声も多い。今回の議会では、区職員の退職金に上乘せをする名誉昇給制度が問題になった。区長は次回から見直すと言答。



この夏は病院に付きっきりの毎日でした。

うさぎだよりの介護日誌でも登場していた義母が8月29日永眠しました。7月に体調をくずして以来約1か月の闘病生活でした。9月で90歳になる高齢でした。足が悪くなり我が家で同居を始めたのが、介護保険制度が始まる前年。ケアプランを家族でつくり、ヘルパーさんや訪問リハビリやデイサービスの方々に支えられ、「桃デイ」や「ももネット」のボランティアの方々に助けられた楽しい在宅生活でした。お世話になった方々ありがとうございました。